

[発行所] 香川県東讃農業改良普及センター

〒769-2401 さぬき市津田町津田930-2(大川合同庁舎内) TEL:0879-42-0190 FAX:0879-42-0196

E-mail: tosannokai@pref.kagawa.lg.jp

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/tosannokai/>

● 表紙…担い手農業者の紹介 ● 2p…農業技術情報 ● 3p…異業種交流会ほか ● 4p…表彰者紹介、鳥獣害対策

祖父、父に続いて就農7年目 ～地域農業を支える農業者を目指して～



小路憲一さん(東かがわ市)は高校まで関西方面で過ごしていましたが、高校生の頃から父親の農作業を手伝うようになり、農業に癒されたことが就農のきっかけとなりました。平成27年7月に父親から独立、水稲とブロッコリーによる経営を開始し、平成28年7月に東かがわ市から認定新規就農者に認定されました。その後も国の補助事業等を活用しながら麦や青ネギを導入するなど、順調に経営を発展させ、令和2年には認定農業者になりました。

就農7年目の現在、経営品目は水稲500a、小麦540a、ブロッコリー200aとなっています。祖父や父親から栽培技術を習得することはもちろん、近隣の先輩農業者からアドバイスをもらったり、疑問点があればJAや普及センターにも相談するなど、日々積極的に技術の向上に努めています。

地域の方々は、小路さんが農作業をする姿を温かく見守っている様子で「農地を使ってもらえないか」と声をかけられることもあり、作付面積は年々増加しています。

また、1歳の男の子の良き父親で「自分が作った農産物を、子どもがおいしそうに食べてくれるのがうれしい」と語る小路さん。地域の方々とのコミュニケーションを大切にされており、「地域の方から安心して農地を貸してもらえるような、地域に認められる農業者になりたい」と話してくれました。

安定生産を目指して！ 今後の麦の栽培管理

播種後気温が高く推移したため出芽が早くなっています。生育状況に応じた「土入れ」、「麦踏み」、「雑草防除」で、安定生産を目指しましょう。

1. 土入れ(排水溝の補修)

土入れには、排水性の向上、無効分げつの抑制、雑草対策、追肥効果の向上、倒伏防止などの効果があります。

麦の3~4葉期から3月上旬までに行いましょう。



土入れを兼ねた排水溝の補修

※土入れを行うときの注意点

- 土が乾いているときに行いましょう。
- 麦類の3葉期前に行うと、生育が抑制されるので注意しましょう。
- 追肥施用後に行うと、肥料効率が高まり、より効果的です。

2. 麦踏み

麦踏みには、草丈の徒長抑制、分げつや根張りの促進、凍霜害回避などの効果があります。

12月下旬~2月上旬(3~4葉期から茎立ち前まで)の土壌が乾いている状態(ローラーに土が付かない程度)で、2~3回(暖冬の年は3~5回)行いましょう。



麦踏みローラーによる麦踏み

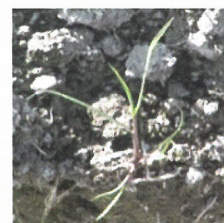


ローラーに土が付着する場合にはかえって生育障害を引き起こすので、作業を中止しましょう!

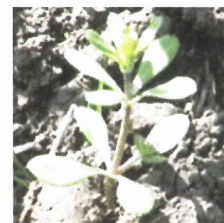
3. 雑草防除

雑草が繁茂している場合は、適切に防除を行いましょう。

薬 剤	対象雑草名	使用時期/回数	使用量 (10a当たり)	散布水量 (10a当たり)
ハーモニーDF	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	麦3葉期~節間伸長前(スズメノテッポウ5葉期まで)/1回	5~10g	100ℓ
アクチノールB 乳剤	一年生広葉雑草	一年生広葉雑草の発生前、ヤムグラ2又は3節期(穂ばらみ期まで)/2回以内	100~200mℓ	70~100ℓ



スズメノテッポウ



ヤムグラ

- ※1 ハーモニーを散布した器具は、使用後速やかに消石灰水500倍液でよく洗浄してください。
- ※2 アクチノールを散布後、雑草が多い場合に再度散布する時は、1週間以上間隔をおいて使用する。

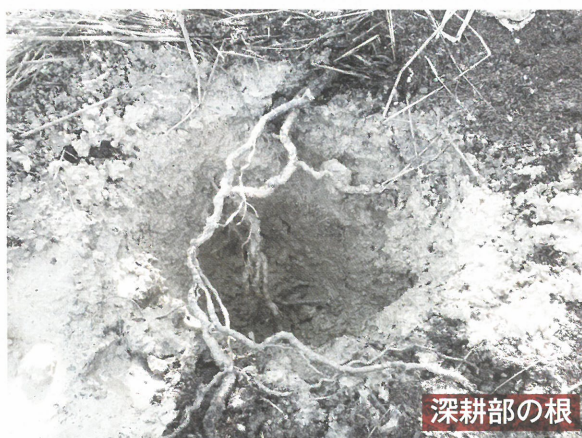
果樹の土壌改良省力化の検討

土壌改良は果樹において重要な栽培管理作業の1つですが、①重労働である、②従来の器具では根を切断し生育に影響を及ぼすことがある、といったことから敬遠されがちです。手軽に・効果的に実施できる方法はないか模索していたところ、過去に農試府中果樹研究所においてカンキツ類の土壌改良を目的に研究報告があった、**バークストリッパー(高水圧剥皮機:本来はカキやブドウの主幹部の粗皮削りを目的とした作業管理機械)を用いた土壌改良方法**に着目しました。報告では、①軽労働でタコつぼ深耕(部分深耕)が可能、②根の切除が大幅に抑えられる、とされています。

今回は、他の品目への波及効果を期待して、棚果樹であるブドウとキウイフルーツ園地で実証試験を行いました。試験では、作業時間や必要水量を把握するとともに、根の損傷が少ないこと・軽労働で十分な深耕が出来ることを確認しました。普及センターでは、今後も継続調査を行い、長期的に生育への影響についてデータ収集を行う予定です。



深耕作業



深耕部の根

東讃地域の農業と異業種の交流会を開催しました!

10月18日、日頃から地元農産物を積極的に扱う飲食店等の実需者に、東讃地域の農業・農産物への理解促進を図り、農業者と実需者の“縁”をつくる交流会を開催しました。

当日は、ホテルや飲食店、市場関係者などの実需者と野菜や果物、畜産などの農業者計51名が参加し、農産物のPRや求められるニーズ、具体的な販売に向けた話し合いなどが行われました。



少人数グループでの意見交換では活発に情報交換が行われました



生産者が作った農産物等を展示・PR

次回予告、
R5年7月頃
開催予定!!

「さめき讃ベジタブル」をご存じですか?



県では、香川県産野菜イメージアップ計画を作成し認定を受けた生産者が、旬や品質等にこだわって作った野菜を「さめき讃ベジタブル」としてPRしています。認定に興味のある方は、普及センターまでお問い合わせください。



詳細な制度はこちらをご覧ください。

<認定者の声>

○Farmer's Society(常谷種苗園芸(株))

認定野菜: 食べて菜

イメージキャラクターである「ベジさん」のシールを袋に貼った商品を出荷しています。これからより多くの方に県オリジナル野菜「食べて菜」を知ってもらうため、PRをしていきたいです。



○JA香川県大内パセリ部会 認定野菜: パセリ



地元小学校での食育活動で、「ベジさん」の着ぐるみを活用しました。子どもたちに地元産パセリの魅力や農業に対する理解を図り、今よりもっとパセリや野菜に親しみを持ってほしいと思っています。



新たに認定を受けた方々(令和4年9月認定)



安西大貴氏

アスパラガス、
なす

JA大内
モロヘイヤ部会

モロヘイヤ

岡田暁憲氏

なす、きゅうり

花崎圭助氏

ミニトマト、
アスパラガス他

松崎朝浩氏

アスパラガス、
青ねぎ

森山優幸氏

オクラ、なす

おめでとうございます 令和4年度大日本農会農事功績表彰



【緑白綬有功章】 福家 茂 様 (高松市)

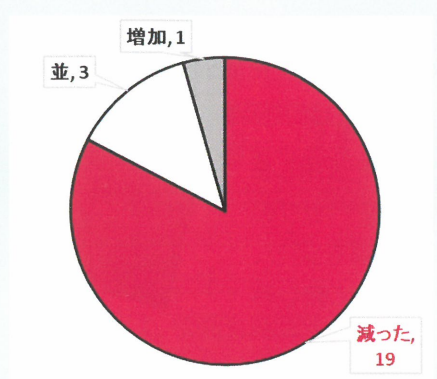
収益性の高いカンキツの施設栽培を中心に露地栽培を組み合わせた経営を行い、新技術や新品種の導入に積極的取り組み、安定した果樹経営を実現しています。また、平成17年から香川県果樹研究同志会理事、平成29年からは副会長として本県果樹の安定生産や高品質化技術等の実証・普及に尽力され、後継者の育成にも取り組むなど、その功績が評価されました。



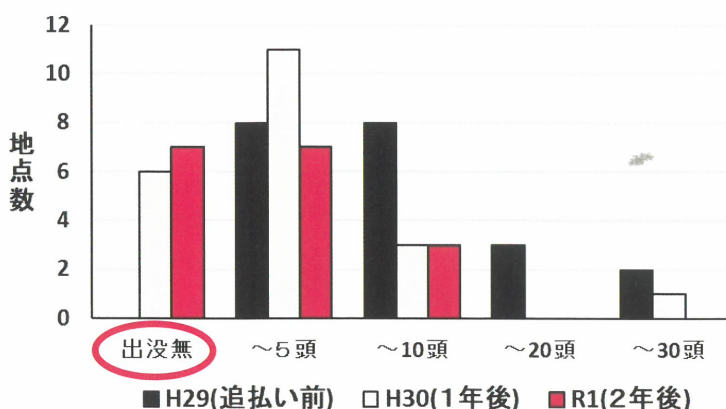
サル対策は地域ぐるみが効果的！
—東かがわ市水主地区の取組事例から—

東かがわ市の水主第2自治会を中心とした地域では、平成30年6月から動物駆逐用煙火を使った地域ぐるみでのサルの追い払いに取組み、出沒や農作物被害を減らすなど効果的な対策に継続的に取り組んでいます。その結果、取組み2年経過時には第2自治会26地点のうち7地点でサルの出沒がなくなり、他の地点でも出沒頭数を半減させることができ、さらに人に対する反応を敏感にさせ、追い払いしやすくなりました。

同地区では、平成27年1月から東讃普及センターや東かがわ市の支援により女性を中心とした獣害対策『女性が主役の獣害対策講習会』に取組み、約2年間の活動でイノシシやサルなどの対策についての知識を深めるとともに、サルの追い払い用道具『びとし君』づくりの実習も行いました。また、煙火使用者は、サルについての勉強会で正しい知識を身につけるとともに、サルの出沒と追い払い状況を記録する調査にも取組み、対策の効果を数字で確認・評価してきました。



サル目撃頭数の変化
(平成29年(追払い前)対比、令和元年時)



サルの最大目撃頭数の変化

水主第2自治会を中心とした住民主体のサル対策は、周辺の水主第1自治会や第3自治会にも波及し、積極的に追い払いを行う人数が増えたほか、第1自治会では侵入防止柵の点検活動が行われるようになり、農業生産の安定化に向けた地域ぐるみの獣害対策が広がりつつあります。



勉強会に集まった男性たち
(平成30年6月)